

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	23	学校名	大宇陀高等学校
----	----	-----	---------

1. **取組名** 「ライフクリエイトコース&学校家庭クラブ活動における地域貢献プロジェクト」
高校生から元気発信！ ～地域貢献活動を通じた人づくり～

2. 活動内容

【目的】

地域貢献活動を通して、自分と立場の異なる人・動物とふれあい、人としてのあり方や命の大切さを真剣に考え、将来を創造する力と実践する力を養い、地域に活力を与える人材を育成。

【活動内容】

- 地域の宇陀こども園にて、高校生が幼児対象に「防災教育」を行った。近い将来大地震に備え、幼児が楽しく防災を学び、自分の命を守れるようにとレクリエーションを各グループが企画・準備。幼児に防災の大切さを呼びかけた。



牛乳パックでホイッスル作り 防災ダンス「おまもりうた」 雷なったら、屋根の下へ！

- 地域の老人ホームで、リハビリを取り入れるなど工夫しレクリエーションを考え実践し、異世代と積極的に交流した。
- ケア帽子(医療用帽子)製作・贈呈活動として、がんなどの病気が原因で脱毛した患者様へ手作りのタオル帽子を製作し、病院に贈呈する地域貢献活動を行った。
- 学校家庭クラブ活動として、地域の特産物「ブルーベリー」を使用したお菓子を開発し、日頃お世話になっている地域の施設へ「感謝の訪問」を行い配布した。

3. 成果と課題

- 地域貢献活動の体験をすることで、自他敬愛の精神やコミュニケーション能力、問題解決力等が身につき、豊かな人間形成を育んでいる。
- 多くの人とふれあう体験は、進路選択にも影響を与え、キャリア教育も効果的に進めることができる。
- 高校生が地域と関わることで、若いエネルギーが町の活性化に貢献できている。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

毎年活動させていただく中で、本校は地域に大切にされている学校だと常々感じている。地域の施設と連携しながら、地域への愛着を深め、本校生徒が一層地域活性化に貢献できることを期待する。